

# しらかわの 身近な文化財

第十七話  
屋根瓦 (昔の瓦)

現在、小峰城跡には三重櫓が復元されています(写真1)。三重櫓の荘厳な風格を印象づける要素の一つが瓦といえるでしょう。

小峰城跡では、発掘調査で多数の瓦が出土していて、城内の多くの建物に瓦が葺かれていたことが分かっています。

瓦の歴史は古く、日本には6世紀後半の仏教伝来とともに朝鮮半島から伝わり、江戸時代の初めまでは、寺院や城郭など限られた建物にのみ使われていました。



▲小峰城跡三重櫓



▲借宿廃寺跡出土復弁六葉蓮華文軒丸瓦 (県指定文化財)

跡が確認されており、そこから多数の瓦が出土しました。軒先を飾る軒丸瓦には、蓮華の花の文様が使われています(写真2)。同じ文様の瓦が、阿武隈川を挟んだ、泉崎村にある関和久官衙遺跡から出土しています。関和久官衙遺跡は、古代白河郡の役所の跡とみられ、同時期に借宿の寺院も建立されたため、同じ瓦が使われたと考えられます。当時の最先端の技術である瓦葺き建築の技術が白河にもたらされたことから、政治の中心地であった飛鳥地方から重要な場所と考えられていた状況をうかがい知ることができます。

問文化財課 ☎ 2310

## 地域で輝く卒業生

大塩 仁夢さん  
(令和4年度電子科卒)

▷勤務先  
味覚糖(株) 福島工場



私は高校卒業後、味覚糖(株)福島工場に勤務しています。中学時代から電子工学に魅了され、電子科では回路設計やプログラミングに興味を持ち、実践的な課題の研究を積極的に行いました。将来は電子技術をいかし、生産ラインの効率化や品質管理に貢献したいです。

弊社の経営理念である「おいしさは、やさしさ」は、お菓子を通じて人々に喜びと幸せを提供することであると思います。この経営理念が私の使命であり、夢でもあります。福島工場の仕事では、安全安心を提供するため、徹底した品質管理を実践していきたいと思っています。

これからも弊社の一員として働くことに誇りを持ち、より一層成長できるよう邁進していきます。

## ★ 新生 白河実業 Vol. 6

〒白河実業高校 ☎ 1176

### ★ 各科紹介③電子科 (本校舎)

電子科では、電子に関する専門的な知識技術の習得のほか、国家資格取得の奨励やロボット競技大会、ロボット相撲大会、マイコンカーラリーなどへの参加にも積極的に取り組んでいます。



高等学校ロボット相撲北海道・東北選手権大会の様子です。12月に両国国技館にて行われる全国大会に出場します。